

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891500050		
法人名	有限会社 エム・エス・ティ介護倶楽部		
事業所名	グループホーム アテン中郷	ユニット名	1階
所在地	〒319-1555 茨城県北茨城市中郷町小野矢指846		
自己評価作成日	平成26年10月27日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年12月8日	評価機関 決 済 日	平成27年6月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

記憶や認知障害のため、生活に不安を感じている高齢者に安心できる生活を送れるように支援したいと考えています。お互いに助け合い、ふれあいながら、職員と一緒に生活する家庭的で、ゆったりとした自由で楽しい「あたりまえの暮らし」をサポートできるように支援したいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は自然に恵まれた小高い丘の上に立地し、居室や共用空間から周囲の田園風景や樹木を眺めることができ、季節の移ろいを感じることができる。 職員はチームワークづくりに心がけ、利用者が穏やかに生活ができるように支援をしている。 代表者兼管理者は「管理者のための研修会」に参加し、利用者支援や職員が働きやすい環境づくりなどについて研鑽している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、温かい家庭環境作りを心がけていますが、理解まで至っていない。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を代表者が設立時に作成し、事務所や玄関に掲示するとともに、職員会議や勉強会時に話し合っ、理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校との交流や地域の行事に参加しています。地域から野菜を頂いてそれを調理しています。	利用者は体調に合わせて散歩に出かけ、近隣住民と挨拶を交わすほか、農家の方から野菜を頂くなど交流をしている。 利用者は近隣小学校の運動会に招かれ、宝探し競技に参加している。 管理者や職員は周辺の住民と草刈活動を行い、地域の一員としての役割を担っている。 市社会福祉協議会に登録している、歌やダンス、手品などを行うボランティアを受け入れ、利用者と交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ボランティアの方を受け入れています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回（奇数月の第3木曜日）、市役所職員、利用者の御家族様、近隣の方々を招き会議を開いています。	運営推進会議は利用者の家族代表や市職員、地域包括支援センター職員、地域住民を委員とし、2ヶ月に1回開催して会議録を作成している。 会議では利用者の生活状況や事業所の現状、運営状況の報告をするほか、インフルエンザ対策や研修会の報告を行い、また、委員からの助言や意見も受けて話し合い、サービスの向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市で行われる勉強会や研修会に参加するようにしています。	市担当者は運営推進会議に毎回参加しているほか、管理者は必要に応じて担当者を訪問したり、電話で連絡を取って事業所の状況や待機情報、取組みについて相談をしている。 市が開催する、認知症に関する研修会等に職員が参加したり、利用者の医療や認知症に対する相談をして助言を得たりしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し勉強会等で指導はしていますが、周知し理解までは至っていません。危険防止のため、廊下は施錠していますが、家族の理解を得ていません。	身体拘束廃止マニュアルを作成するとともに、年1回内部研修会を開催し、職員が身体拘束の内容と弊害を理解するように努めている。 階段からの転落防止及び無断外出防止のため、玄関に通じる出入口を施錠しているが、家族等の理解を得ている。 便失禁のある利用者がつなぎ服を使用しているが、身体拘束に関わる説明書や同意書、経過観察記録書等の書類を整備するまでには至っていない。	玄関に通じる出入口の施錠について、家族等の同意を書面で得ることや、やむを得ず身体拘束を行う場合の説明書や経過観察記録書、再検討記録等一連の書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会等で指導はしていますが、理解まで至っていません。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	該当する方がいません。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に必ず説明し理解・納得をして頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で家族の意見を聞くことを第一と考えています。尚、意見箱を設置しています。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に利用者や家族等に説明をしている。 利用者からは日常のケアの中で、家族等からは来訪時などに意見や要望を聴くように努め、利用者の食べたい物や買い物希望を把握して支援を実施して、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回は職員会議を開き意見交換を出来る様にしています。	管理者は月1回の職員会議や、日頃から職員と話し合ったり、意見や提案を聞く機会を設け、行事計画の提案や勤務体制、休日の要望及び利用者のケアに関することについて、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	忘年会や暑気払いをして、親睦をはかるように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会を開き、市で行われる勉強会・研修等に参加しスキルアップに心がけていますが、なかなか向上に向けていきません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	必要性のある時は交流を持ちますが、通常は交流する機会がありません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居にあたって安心出来る様に、家族や近所の方、友人達が呼んでいた呼び名を聞き、その名前と呼ぶようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居するにあたって安心出来る様に、家族に十分な説明をしてもらいます。又、本人と一緒に来ていただき見学してもらいます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活の現状、ADL状況、実態調査の記録をとりながら、サービスの向上に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたんだり、おやつ・食事の下ごしらえなどレクリエーションを兼ねた生活リハビリを行っています。一緒に食事やおやつをたべたり、日頃から話をしながら不安や悩み、好みや希望を聞くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方の受診の協力をして頂いています。写真の送付や支払時は現金で精算するようにし、本人と面会出来る様にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来ていただいた方には、積極的に来ていただくよう支援しています。	職員は利用者の家族や親戚、知人などの来訪時にはお茶を出し、ゆっくりと話をして過ごしてもらえるように支援をするほか、利用者が盆や正月に自宅へ帰ったり、墓参りに出かけたりできるように、家族等に連絡を取っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブル等が生じた際には、お互いの話を良く聞き、利用者同士の関係が悪化しないように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	管理者が家族との連絡を取りながら、家族をサポートし、連携をとれるようにしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員同士で共有をはかり、サービスに努めています。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに、日常生活の関わりの中で話しかけて思いや意向を聴き、利用者一人ひとりにそった支援が出来るように努めている。 把握が困難な場合は家族等に聴いたり、職員が利用者本位に検討をしている。 把握した思いや意向をケア記録や申し送りノートに記載しているが、記録に埋もれてその個所を見易くするまでには至っていない。	利用者の思いや意向の把握がケアの原点と捉え、把握した思いや意向を記録をする際は、色分けをしたりマーカーでその個所を見易くするなど、全職員で共有することが望まれる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との話し合いの中で引き出しながら把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や申し送りで共有し一人ひとりの把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や勉強会、カンファ等で、アイデアを出し合い、意見を交換しています。	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を聞き、職員会議等で話し合いながら作成をしている。 設定期間毎に介護計画を見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直しはしているが、モニタリングを必ずしも定期的実施するまでには至っていない。	モニタリングを定期的実施し、介護計画の見直しに反映させることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌、口頭での申し送りや共有し、職員会議やカンファで意見を交換し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族に代わって病院の付き添いや薬とりなど代行しています。補聴器や福祉用具の事業所と連携を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ADLの状況を考えると参加は難しいです。ボランティアや地域資源により、可能な限り参加出来る様に支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院、主治医と連携を取りながら対応しています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医に受診ができるよう、通院などの支援をするとともに、受診の際はバイタル管理の文書を持参して、適切な医療が受けられるように努めている。 受診結果は、家族等が付き添う場合には帰着時に聞き取り、職員が同行して通院する場合で状態に変化があった時は、電話で家族等に報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は不在になります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーの提出や退院時は相談員と連携を取りながら対応しています。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	マニュアルを作成し、看取りも考えて家族や職員とも話し合いをしています。ターミナルケアも考えています。	「重度化した場合や看取りの対応に関わる指針」を作成するとともに、契約時に利用者や家族等に説明し同意を得ている。看護マニュアルを作成するとともに、緊急時の対応や協力医療機関との連携体制を確保している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会で応急処置の仕方や緊急対応の手順等を勉強しています。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域消防署の指導を受けながら避難訓練を年に2回は実施しています。	消防署の協力を得て火災を想定した避難訓練を年2回実施し、実施記録を作成するとともに課題を明らかにしているが、夜間を想定した避難訓練の実施や、訓練に地域住民の参加と協力体制を築くまでには至っていない。災害に備えて食料や飲料水等を備蓄しているが、それらの一覧表を作成し、消費期限等を管理するまでには至っていない。	夜間想定での避難訓練を実施するとともに、訓練に地域住民の参加が得られるよう、運営推進会議等に働きかけ、災害時の協力体制を築くことを期待する。災害に備えた備蓄品について、一覧表を作成するとともに、消費期限を管理することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の声掛は皆の前で言わない事や部屋で着替えをするなどの対応をしています。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応に留意している。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管し管理している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの意見を尊重し、物事を押し付けないように心がけています。	/		/	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の話を聞きながらペースに合わせて支援しています。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に髪をカットしたり、各個人に合わせて爪のお手入れや髭剃りをしています。	/		/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に話をしながら食事を楽しんでいます。たまに外食の計画もしています。	献立は利用者の嗜好に考慮して調理員や職員が作成し、管理者が定期的に市場で買い出しをした食材や、近隣住民から頂いた野菜等を利用して食事を作っている。 職員は利用者と同じ食卓を囲み、声かけや介助をしながら一緒に食事をしている。 利用者はできる範囲で野菜の皮むきをしたり、テーブル拭きをするほか、職員と一緒におやつ作りをしたり、年に数回外食に出かけることも楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの病歴や様子を見ながら支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝や食後、寝る前は必ず口腔ケアをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間を見ながら声掛けをし、トイレへ誘導しています。	職員は排泄チェック表をもとに、利用者一人ひとりの排泄パターンや排泄サインを把握し、時間を見計らって声かけし、トイレでの排泄が出来るように支援をするとともに、排泄の失敗やおむつの使用量を減らすように努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事を工夫したり、運動したりしています。場合によっては医師と相談し、下剤の調整を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日、時間帯はある程度決定していますが、順番を変更したり、入浴剤をいれたりしてリラックスできるように工夫しています。	入浴は週3回午前中と決まっているが、体調や必要に応じてシャワー浴や清拭などに変更をしている。 季節や行事に合わせて柚子湯や菖蒲湯にしたり、入浴剤を入れて楽しく入浴出来るように支援をしている。 入浴を拒む利用者には時間をおいて声かけをしたり、職員を変えて誘導をし、無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能、副作用などは個人ファイルに添付して職員全員で把握できるようにしています。飲み忘れ防止のためのチェックリストを作成しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意、能力、好みを知り楽しく過ごせるように支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域交流のため、外食等を行うようにしています。	職員はその日の天候や利用者の体調に配慮しながら、日常的に事業所の庭で外気浴をしながら犬とふれ合うほか、周辺へ散歩に出かけられるように支援をしている。 希望により職員と一緒にスーパーへ買い物に行ったり、計画を立てて出かける外食も利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かっていません。施設で立て替えています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りも出来る様に代筆等も行うようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の花を飾ったり、正月飾りやクリスマスツリー、雛人形、五月飾り、七夕等を飾って、季節を感じるようにしています。	居間兼食堂は明るい空間となっており、温度や音量管理に配慮して快適に過ごせるようにしている。 居間兼食堂からは、周辺の田園風景や樹木を眺めることができ、季節の移ろいを感じることが出来る。 居間にはソファを配置したり、一角に畳の部屋を設けたりして寛ぐことができるようになっているほか、壁面に利用者の作品や日常の写真を掲示するとともに、季節の行事毎に飾りつけを行い、居心地よく過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで雑談したり、ソファでくつろげるようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れたものを持ち込んでもらい、過ごしやすいように工夫しています。	居室は全室南向きで日当たりの良い環境となっており、ベッドや収納箆笥、エアコン、カーテンが備え付けとなっている。 利用者は家族等と相談しながら、使い慣れた寝具類、衣類、テレビ、テーブル、椅子、整理箆笥、時計などを居室に持ち込むとともに、家族等の写真やぬいぐるみ、カレンダー、手作り作品などを飾り、居心地よく暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを付けたり、自分の部屋が分かりやすいようにドアにぬいぐるみ等をつけたり、居室のカーテンの色を変える工夫をしています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム アテン中郷

作成日 平成27年6月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の不安や要望を職員全員が理解し把握していない	利用者が安心できる 平成27年6月24日	利用者の話を傾聴し、問題点は会議を開き全員で理解し、把握して解決する	3ヶ月
2	35	夜間想定避難訓練が出来ていない	夜間想定避難訓練を実施する	夜間想定避難訓練を考え、地域の協力を得る	3ヶ月
3	49	利用者の外出が少ない	最低でも月に1回は外出出来る様にする	希望する買い物の付き添いや庭先での昼食ができるようにする	3ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。